

決算認定

国民健康保険特別会計  
**収納確保に努めたが、医療費増により依然として厳しい財政運営**

**決算の概要**：急速な高齢化による医療費の増加傾向、保険料収入の伸び悩みなどにより、依然として厳しい財政運営を余儀なくされています。このため、医療費適正化対策の推進並びに特別調整交付金の確保に努め、さらに安定した収納確保を図るため、口座振替の推進や臨宅徴収を実施しました。

**反対** 国民皆保険の精神を生かすべき時  
 田母神節子議員

**賛成** 医療費適正化対策に取り組みつつ、税収の確保を  
 佐藤理美議員

保険料を払えない人に保険証を渡さないのでは、国保の精神に反することです。また、税の基準が前年度収入で決まることにより、当年職を失った人などは払えないこととなります。憲法にのっとり、払いやすい保険料にしてほしい。保険税の値下げと、当初の国の補助金の水準まで戻し、国庫補助金を増額するよう、自治体は強力に国へ働きかけることが必要です。

医療制度改革により、後期高齢者支援金の創設、前期高齢者の費用負担の調整が始まり、大きな変革の年でした。その中で、町は制度改革に的確に対応するとともに、レセプト点検等による医療費の適正化対策に取り組んでいます。今後も被保険者間の負担の公平・公正の観点から、保険料の収納確保に向け、さらなる努力を要望します。

決算認定

老人保健特別会計  
**新たな医療制度により、残務的な決算額**

**決算の概要**：平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まったことから、20年3月診療分と月遅れ請求分の支払いのみ。このため、平成20年度の事業規模は著しく縮小し、医療費は一部負担金を含めた総費用額で約2億6000万円（前年度比約26億7000万円の減）となりました。

決算認定

後期高齢者医療特別会計  
**制度初年度は、定着に向けた取り組みを実施**

**決算の概要**：平成20年4月からスタートしたこの制度は、高齢者を中心に医療費が増大する中で、国民皆保険を将来にわたって安定的に持続可能なものとするために、現役世代と高齢者の負担を明確化し、世代間で支え合うことを目的に始まり、その定着に向けた取り組みがなされました。

**反対** 高齢者いじめの医療制度は廃案しかない  
 田母神節子議員

**賛成** 今後も制度の健全な運営を  
 岡本安明議員

世界に例のない高齢者いじめの制度が始まって1年経過しました。19人の方が保険料を滞納し、金額は76万円です。保険証の取り上げはないよう、広域連合議員になった町長の活躍に期待するところですが、町長は「保険者の立場で出席している」と言い、町民の立場でないことが明らかになりました。誰に選んでもらったのか疑問です。

この制度がスタートして以来、これまでさまざま改善がなされました。保険料の追加軽減、年金天引きと口座振替の選択制の導入や診療報酬の凍結など、制度の定着に向けた取り組みが行われました。今後も制度の健全な運営のため、広域連合と緊密に連携し、被保険者への適切な対応や、保険料負担の公平性の確保など、さらなる努力を執行に要望します。

決算認定

農業集落排水事業特別会計  
**水洗化進む。実質収支も黒字**

**決算の概要**：平成20年度における水洗化率は、今市地区で94%、用土中央地区では83・8%となりました。18年度から事業着手した折原地区については、管路施設2892・9mの整備を行い、24年度の供用開始に向けて事業展開されるということです。歳入歳出の差し引き（実質収支額）は、68万4000円となっています。

特別会計決算額

国民健康保険	収入	35億4900万円
	繰入	35億6200万円
老人保健	収入	4億500万円
	繰入	3億4500万円
後期高齢者医療	収入	2億7000万円
	繰入	2億6800万円
下水道事業	収入	11億9000万円
	繰入	11億8200万円
農業集落排水事業	収入	2億5700万円
	繰入	2億5600万円

水道事業会計決算額

収益的収支	収入	8億8700万円
	支出	8億2000万円
資本的収支	収入	3億7200万円
	支出	7億6100万円

※金額の単位は100万円（未満切捨）

決算認定

下水道事業特別会計  
**男衾第1汚水幹線、全線完了**

**決算の概要**：ホンダ新工場の操業開始に向けた管渠築造工事（1681・2m）により、男衾第1汚水幹線が全線完了。このことにより、ホンダ新工場から旧川本町の荒川上流水循環センターまでの管路がすべて接続され、この事業の負担金（約1億5600万円）を支払ったほか、維持管理については計画的に管路清掃を実施。汚水処理についても維持管理負担金約5000万円を支払い、実質収支は872万4000円となりました。

**反対** すべての地域に生活環境の整備促進を！  
 田母神節子議員

**賛成** 今後も経済的かつ効率的な事業執行を  
 稲山良文議員

ホンダ寄居新工場に伴う男衾地区

ホンダ寄居工場から旧川本町にあ

の下水道工事に対する、受益者負担の高額な方は苦勞しています。期間の延長だけでなく、何らかの減免措置を希望しています。また、1970年代に20〜30戸の住宅が虫食い状態で建築されていますが、いまだに下排水は浸透式などで、土地が狭い場所は浄化槽も入っていません。住民が高齢化する中、行政の施策は急務です。

荒川上流水循環センターまでの管路がすべて接続されました。下水道施設は、生活環境の改善、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的とすることから、今後も経済的かつ効率的な事業の執行を図るとともに、建設財源の確保に努めるなど、さらなる執行の努力をお願いします。

決算認定

水道事業会計  
**高金利の企業債の繰上償還と2億円超の低利借換債を発行**

**決算の概要**：配水管布設事業のほか、ホンダ新工場関連専用水道管布設工事を実施。経営健全化を推進するため、高金利の企業債の繰上償還及び2億円を超える低利の借換債が発行されました。また、建設改良費で漏水事故防止・震災対策を踏まえた老朽管更新工事に取り組みとともに、配水管布設工事を実施し、これにより20年度の導水・配水管の総延長は204・26kmとなりました。

**反対** 料金の値下げが必要  
 田母神節子議員

**賛成** 適切な事業展開  
 押田秀夫議員

寄居町では、昨年に続き、有収水量は減少しています。住民は、いかに基本料金内で納めるか苦勞しています。値下げが必要です。一律に値下げできない場合は、ハイリスクの世帯、高齢者、母子、障害者等々、検討してもらいたい。簡易水道では、すべて町負担にしていることを考えれば、実現可能ではないかと思えます。

高金利の企業債を繰上償還して低金利に借り換えるなど、収益的収支、資本的収支とも、合理的・能率的な企業経営の原則に基づき、経営健全化を図り、適切に事業展開された決算内容です。老朽管の更新、配水管布設事業なども計画的に進められています。